令和３年度宮城大学アカデミック・インターンシップ

【フードマネジメント学類】「食品成分を測ってみよう」

事後課題

〇課題の提出要領

　・回答は，A4縦使用のレポート用紙に記載して提出してください。
ワープロ使用，手書きいずれでもかまいません。枚数の指定も特にありませんが1～2枚が目安です。

　　なお検量線は，ワープロ使用，手書きともにMS EXCELで作成したものを貼付けてください。

〇課題内容

１．比色法の問題点・限界について考えてみましょう。

２．炭水化物（糖類）を比色法で測る方法があります。その一つにフェノール-硫酸法があります。

　１）フェノール-硫酸法がどのような分析方法なのかを調べてみましょう。

　２）フェノール-硫酸法によって，清涼飲料水の分析を行った結果を動画の最後のページに示しています。この結果から，動画の中で示したフォーリンチオカルト法と同様の方法で検量線を作成し清涼飲料水中の糖分含量を算出してみましょう。
　栄養成分表示に炭水化物が示されています。フェノール-硫酸法で求められるのは糖分の値ですが，飲料中の炭水化物はほとんどが当分です。表示されている値と近い値となりましたか？

３．改めて，食品の表示について以下のことを考えてみましょう。
１）なぜ必要なのか
２）現在の表示内容で十分なのか
３）現在定められている分析の方法は適切か（特にproximate componentsの考え方）